

第10回北海道ユニバーサル上映映画祭

七飯上映会



キャラクターデザイン 絵: 田村紋子

(ごご0時20分～)シアターフォーラム

「北海道新幹線開業、ユニバーサルデザインは
おもてなしの心 in 七飯」

基調講演: 西谷 雷佐さん
(たびすけ 合名会社 西谷代表)

ディスカッション: 予定含む
七飯大沼国際観光コンベンション協会
カムイ大雪バリアフリーツアーセンター
北海道盲導犬協会
UD検証モニター(提言発表等)

映画上映

(ごご1時50分～)

ウィニング・パス
Winning Pass

2015年

6月21日(日) 午後0時開場

七飯町文化センター
パイオニアホール他

午前11時
シネマカフェ
オープン

松山ケンイチ
(役: 自主製作班)

堀北 真希

角替 和枝

矢崎 滋

佐藤 めぐみ

三浦 誠己

加藤 大治郎

ベンガル

寺島 進

石井 めぐみ

柄本 明

加藤 剛

©2003「ウィニング・パス」製作委員会

日本語
字幕

ミュージック
サイン

補聴援助
システム
(磁気ループ)

音声
ガイド

手話
通訳

要約
筆記

車いす
席

託児所

主催: 北海道ユニバーサル上映映画祭実行委員会
共催: 七飯町、日本福祉のまちづくり学会北海道支部

後援: 北海道、渡島教育局、函館市、函館市教育委員会、北斗市、北斗市教育委員会、七飯町教育委員会、
北海道社会福祉協議会渡島地区事務所、函館市社会福祉協議会、北斗市社会福祉協議会、七飯町社会福祉協議会
北海道運輸局函館運輸支局、函館市民生児童委員連合会、函館市身体障害者福祉団体連合会
函館市PTA連合会、函館市ボランティア連絡協議会、(社)北海道中小企業家同友会函館支部、函館映画鑑賞協会
NHK函館放送局、HBC函館放送局、STV函館放送局、HTB函館支社、函館山ロープウェイ(株)FMIいるか、NCV函館センター
函館新聞社、北海道新聞函館支社、朝日新聞函館支局、毎日新聞函館支局、読売新聞函館支局(順不同)

●ご連絡: UD企画函館 橋本: tel0138-55-1855 / 七飯町社会福祉協議会: tel0138-65-2067

東日本大震災による被災者の方を 無料ご招待 します

前売り
チケット

一般 800円
(一般当日 1,000円)
七飯町民 700円
高校生以下 無料

第10回北海道ユニバーサル上映映画祭 七飯上映会

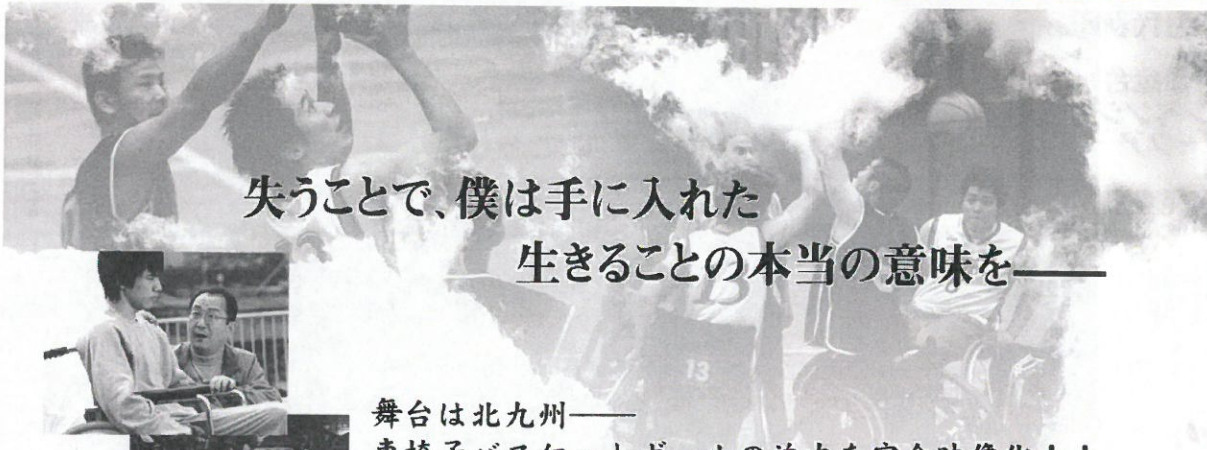
シアターフォーラム ごご0時20分～

北海道新幹線開業、ユニバーサル

映画上映 ごご1時50分～

ウィニング・パス Winning Pass

ディスカッション：予定含む
七飯大沼国際観光コンベンション協会
カムイ大雪バリアフリーツアーセンター
北海道盲導犬協会
UD検証モニター（提言発表等）



失うことで、僕は手に入れた
生きることの本当の意味を——

舞台は北九州——

車椅子バスケットボールの迫力を完全映像化！！

目を見張るスピードと鋭いターンの切り返し。競技用車椅子を親身自在に操り、所せましと繰り広げられる自然のプレーは、見るものを圧倒し一気に引き込んでしまう。本作は、アジア初「ゴールドカップ2002」（パラリンピックと並ぶ世界最高峰の車椅子バスケット選手権大会）開催地の北九州市を舞台に、車椅子バスケットボールにかけると高校生の青春群像を描く。

ある日突然、ひとつの「自由」を失った高校生の挑戦…

高校2年の健太は彼女の香織、親友の大輔・和也と共にそれなりに楽しい高校生活を送っていた。香織はスタイリストを目指し上京を考えている女の子。そのまっすぐな眼差しに、健太も自分の可能性について考え始めた矢先だった。突然の事故で下半身不随になった健太。「車椅子になる」現実を受け入れられず周囲を拒絶する健太だったが、同室のベンオヤジ・坂田や、車椅子バスケットを始めるきっかけとなる誠との出会いで次第に明るさを取り戻していく。学校に戻った健太は、自分を受け入れてくれる香織に対して素直に接することが出来なまま、誠が所属する車椅子バスケットチーム「北九イーグルス」に入る。激しいぶつかり合いとスピード…まさに格闘技ながらの車椅子バスケットの世界に、健太は自分の居場所を見出していく。新しい人生をつかんでいくための、健太の挑戦が始まる。

市民参加の映画プロジェクト。

撮影はほぼ全編が北九州市内で行われ、「市民応援団」の結成や北九州フィルム・コミッションを軸とする行政の協力の下で製作された。撮影中には延べ1,000名にも及ぶ市民エキストラや、現場を手伝うボランティア・スタッフが加わり、行政、市民と共に作り上げられた作品である。また、映画の後半で大きな盛り上がりを見せる車椅子バスケットの試合シーンの撮影には、九州地区の実際の選手達が参加し、迫力のプレーを披露している。

監督は、山本薩夫、深作欣二、市川崑、熊井啓といった日本を代表する監督たちのもとで修業を重ねた後、「ドン松五郎の生活」「チンパオ」等、多彩な作品を手がけてきた中田新一。プロデューサーは、福祉や環境の分野で映画作りを手がけてきた中橋真紀人。また、音楽監督には数々のテレビドラマ、映画音楽を手がけてきた千住明。主人公・健太には、本作が映画初主演となる期待の若手俳優・松山ケンイチ。3ヶ月に渡る車椅子バスケットのトレーニングを経て、撮影に挑んだ。その父親にテレビドラマやCMでもお馴染みの矢崎滋、母親には東京乾電池の角替和枝、妹に「V6」主演映画「COSMIC RESCUE」でヒロインに選ばれた新人・堀北真希。健太の恋人には、「日テレジュニク2002」で大きな注目を集めた佐藤めぐみ。そして、加藤剛をはじめ、三浦誠己、加藤大治郎（加藤剛子息）、ベンガル、寺島進、石井めぐみ、柄本明といった演技派・個性派の俳優たちが脇を固める。

2003年/カラー/108分/ウィスタ・サイズ/ドルビー / ©2003「ウィニング・パス」製作委員会

ウィニング・パス
Winning Pass



基調講演

たびすけ 合同会社 西谷

代表

にしや
西谷

らいすけ
雷佐
さん

デザインはおもてなしの心 in 七飯

会場：七飯町文化センター パイオニアホール他

12:00開場
6月21日(日)

12:20～13:40
シアターフォーラム
「北海道新幹線開業、ユニバーサルデザインは
おもてなしの心 in 七飯」

13:50～
「ウィニング・パス」上映

開場時間に合わせて シネマカフェ開設